

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-01		
施設名	ふるさと文化館				
所在地	南千住六丁目63番1号（南千住図書館併設）				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成9年 1,485,843	国・都	区債	一般財源
	増改築①		0	0	1,485,843
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成10年5月1日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成10年5月1日		職員数	11	0
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		2,724 m ²		
	延床面積		2,585 m ²		
設置目的・経緯	区民の生涯学習の振興並びに荒川区における教育、学術及び文化の発展に寄与するため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立荒川ふるさと文化館条例				
駐車場の状況	8台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	①荒川区の考古、歴史、民俗等資料の収集及び保存②常設展示及び特別展示事業（企画展等）③資料の専門的な調査研究④文化財の保存及び活用⑤郷土学習のレファレンス（資料紹介や学習アドバイス、団体見学対応等）⑥教育、学術及び文化の振興に関する事業（各種講座）⑦伝統技術の保護と育成（あらかわ学校職人教室、伝統技術展、荒川区伝統工芸技術継承者育成事業、伝統工芸ギャラリーの運営等）					
対象者	区民全般・荒川ふるさと文化館利用者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）				
	休日	月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）、毎月第2木曜日、年末年始（12月29日～1月4日）、館内整理日				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
	観覧者数（有料）（人）	1,956	2,022	3,085	3,029	4,000
	観覧者数（無料）（人）	10,231	7,761	9,483	4,965	5,500
	観覧者合計（人）	12,206	9,783	12,568	7,994	9,500
	伝統工芸ギャラリー入場者（人）	14,516	16,040	17,122	11,199	14,000
	視聴覚室（件）	6	14	7	8	10
	研修室（件）	17	15	16	19	20
	開館日数（日）	231	283	296	294	296
に指定 等する 管理 費						
備考	令和6年度は大規模改修工事基本設計を策定した。令和7年度は実施設計と共に、文化館の展示室及び伝統工芸ギャラリーの展示設計も併せて行っている。					

III 財務諸表

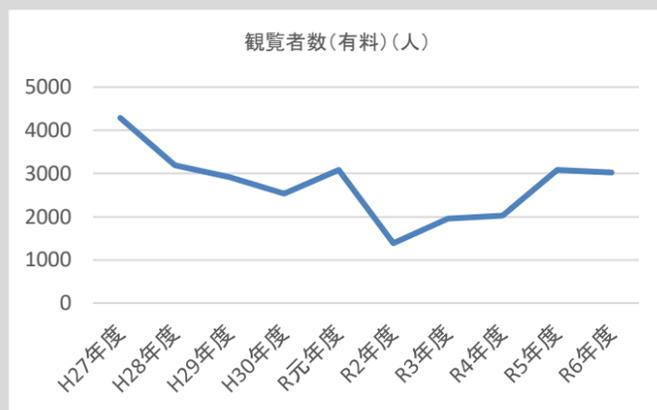
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R5年度	R6年度	差額	勘定科目	R5年度	R6年度	差額
	給与関係費	56,374	65,530	9,156	地方税等	0	0	0
	物件費	74,153	79,796	5,643	国庫支出金	2,806	3,025	219
	維持補修費	1,146	1,108	▲ 38	都支出金	1,403	1,513	110
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	9,508	9,034	▲ 474	使用料及び手数料	339	332	▲ 7
	減価償却費	40,818	41,000	182	その他	356	474	118
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,904	5,344	440
	賞与・退職給与引当金繰入額	7,102	6,463	▲ 639	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 184,197	▲ 197,587	▲ 13,390
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	189,101	202,931	13,830	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 184,197	▲ 197,587	▲ 13,390
	特別費用(g)	69	0	▲ 69	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 69	0	69	当期収支差額(e)+(h)	▲ 184,266	▲ 197,587	▲ 13,321	
貸借対照表	勘定科目	R5年度	R6年度	差額	勘定科目	R5年度	R6年度	差額
	流動資産				流動負債	2,796	3,180	384
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	2,796	3,180	384
	有形固定資産	450,107	409,378	▲ 40,729	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	26,544	24,809	▲ 1,735
	建物	1,497,414	1,497,414	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 1,047,307	▲ 1,088,036	▲ 40,729	退職給与引当金	26,544	24,809	▲ 1,735
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	29,340	27,989	▲ 1,351
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	678,190	658,485	▲ 19,705
建設仮勘定	3,740	20,416	16,676	正味財産の部合計	678,190	658,485	▲ 19,705	
その他の固定資産	253,683	256,680	2,997	負債及び正味財産の部合計	707,530	686,474	▲ 21,056	
資産の部合計	707,530	686,474	▲ 21,056					
備考	行政収入は、国庫支出金、都支出金その他、使用料及び手数料としてふるさと文化館観覧料等、その他収入として有償頒布物代金がある。							

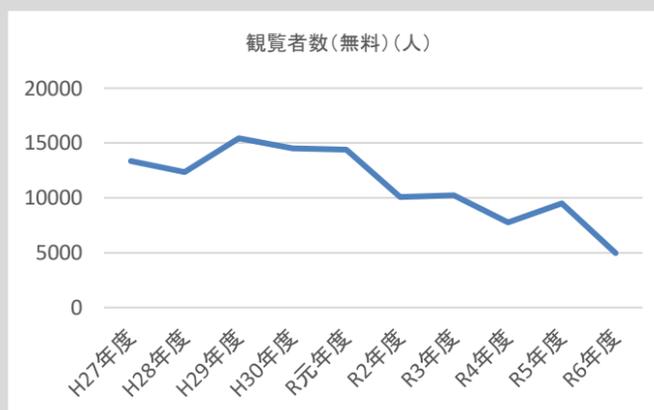
指標		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	65	67	70	72.7	
	1㎡当たりコスト(円)	68,608	78,183	73,165	78,516	
	来館者1人当たりコスト(円)	12,215	12,597	11,801	13,882	
	開館一日当たりコスト(円)	767,632	714,031	682,672	528,803	
備考	前年度と比較して1㎡当たりのコストや来館者一人当たりのコストが増加したのは、主に行政コストの増加(主に伝統技術展を実施)したことなどによる。開館一日当たりのコストが減少したのは、これは行政費用の物件費等が増加した以上に、開館日数が増加したことによる。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	観覧者数(人)	目標値	15,000	15,000	18,000	20,000	14,000
		実績値	14,516	16,040	17,122	11,199	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合	○ 廃止			
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	○老朽化が著しい空調設備、照明設備、給排水設備等の改修工事を早急に必要ながある。 ○改修工事にあわせて、社会環境や利用者のニーズの変化を踏まえ、展示室及び伝統工芸ギャラリーのリニューアルを行う必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○快適で居心地の良い安心安全な施設のリニューアル改修に向けて老朽化やバリアフリー対策を進めると共に、歴史と文化を楽しく学び探求する展示室や伝統工芸品の魅力を発信する伝統工芸ギャラリーの充実を図る。						
議会、利用者等からの意見	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年2月予特、9月決特 ふるさと文化館の名称変更等について 平成29年2月決特 伝統工芸ギャラリーについて 平成29年9月決特 ふるさと文化館の名称変更、施設の位置付け等について 令和6年6月定例会 荒川ふるさと文化館・南千住図書館の大規模改修について 						



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉館し、観覧者数(有料)が減少した。4年度は特定天井撤去工事に伴い3ヶ月余り休館した。



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉館し、観覧者数(無料)が減少した。4年度は特定天井撤去工事に伴い3ヶ月余り休館した。

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-02		
施設名	生涯学習センター				
所在地	荒川三丁目49番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和45年	国・都	区債	一般財源
	増改築①	平成8年	303,300		
	増改築②				
併設施設	教育センター				
竣工年月日	昭和45年		区職員	その他	
供用開始年月日	平成9年		職員数	8	15
構造	RC造		階層	4階	
面積	敷地面積		6,766.09 m ²		
	延床面積		2,970.35 (4530.36m ² のうち) m ²		
設置目的・経緯	区民の生涯にわたる学習の場の提供や講座の開催、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。				
関連部署	文化交流推進課、教育委員会事務局教育センター、福祉部高齢者福祉課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立生涯学習センター条例・施行規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	50台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
				-	まで	
事業内容	荒川コミュニティカレッジ、生涯学習講座、一般教養講座（区民カレッジ）、専修学校連携講座、学習・地域活動に関する相談支援、生涯学習情報提供					
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
	利用者数（人）	91,925	100,336	100,887	89,533	96,000
	利用件数（件）	7,144	5,381	6,156	5,868	6,500
	区民カレッジ講座数	62	56	46	43	43
	区民カレッジ受講者数	2,600	2,440	1,836	738	1,440
	I T講習会参加者数	641	692	-	-	-
	I T自習室参加者数	640	769	-	-	-
	貸室稼働率	63	59	62	63	65
に指定 用係等 管理 費	指定管理料（千円）	65,412	62,056	0	0	0
	指定管理者の支出合計（千円）	58,345	60,935	0	0	0
	指定管理者の人件費（千円）	19,189	21,330	0	0	0
	指定管理者の利用料金収入（千円）	2,107	1,140	0	0	0
備考	令和2～4年度は新型コロナ対応を取りつつ事業、施設運営を実施したため、当初は利用者、講座受講者について減少したが以降は回復傾向となっている。令和5年度から施設管理が直営となった。令和6年度は給排水衛生設備改修工事実施による貸室利用の制限があり、利用者数や区民カレッジ受講者数等の減につながった。					

III 財務諸表

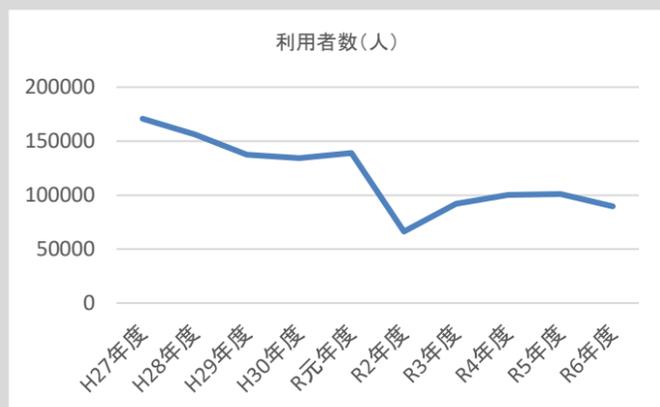
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	R5年度	R6年度	差額		R5年度	R6年度	差額	
行政コスト計算書	給与関係費	41,168	47,966	6,798	地方税等	0	0	0
	物件費	62,412	64,107	1,695	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	3,016	3,531	515	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,383	1,035	▲ 348	使用料及び手数料	2,604	2,062	▲ 542
	減価償却費	2,378	934	▲ 1,444	その他	1,019	879	▲ 140
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3,623	2,941	▲ 682
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,187	4,731	▲ 456	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 111,921	▲ 119,363	▲ 7,442
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 4	▲ 4	0
	行政費用合計(b)	115,544	122,304	6,760	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 111,925	▲ 119,367	▲ 7,442
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 111,925	▲ 119,367	▲ 7,442	
貸借対照表	勘定科目			勘定科目				
	R5年度	R6年度	差額	R5年度	R6年度	差額		
	流動資産			流動負債	5,213	3,602	▲ 1,611	
	収入未済	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	特別区債	1,274	1,274	0	
	その他の流動資産	0	0	賞与引当金	2,042	2,328	286	
	有形固定資産	48,062	247,503	199,441	その他の流動負債	1,897	0	▲ 1,897
	土地	35,226	35,226	0	固定負債	27,037	24,539	▲ 2,498
	建物	183,944	384,319	200,375	特別区債	7,653	6,379	▲ 1,274
	建物減価償却累計額	▲ 173,376	▲ 174,262	▲ 886	退職給与引当金	19,384	18,160	▲ 1,224
工作物等	20,213	20,213	0	その他の固定負債	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲ 17,945	▲ 17,993	▲ 48	負債の部合計	32,250	28,141	▲ 4,109	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	48,352	223,612	175,260	
建設仮勘定	12,155	0	▲ 12,155	正味財産の部合計	48,352	223,612	175,260	
その他の固定資産	20,385	4,250	▲ 16,135	負債及び正味財産の部合計	80,602	251,753	171,151	
資産の部合計	80,602	251,753	171,151					
備考	行政費用では物件費が多くかかっている。物件費には、受付管理業務委託や清掃委託、各種点検委託等委託費42,055千円や給排水設備工事に伴う物品運搬委託693千円を含んでいる。維持補修費には、利用者支援コーナー他3箇所空調機器更新の家屋等修繕費2,309千円が含まれている。その他の行政収入は、自動販売機等の光熱水費受入れ、講座受講料等である。							

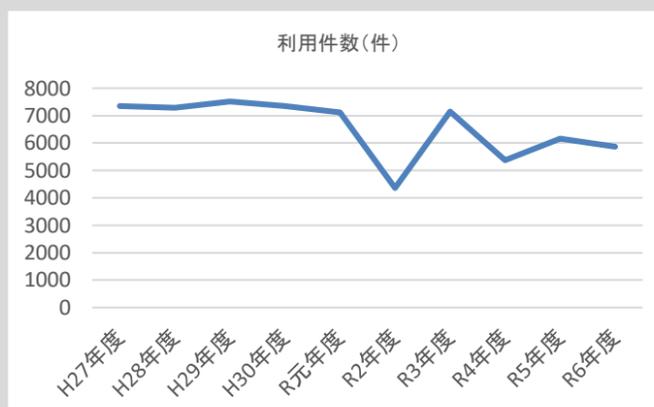
指標		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	93	93	94	47.5	
	1㎡当たりコスト(円)	15,865	17,895	25,504	26,997	
	開館1日当たりコスト(円)	201,899	227,728	324,562	343,551	
	利用者1人当たりコスト(円)	782	808	1,145	1,366	
	区民1人当たりコスト(円)	335	378	538	570	
	受益者負担比率(%)	3	1	0.0	0.0	
備考	令和4年度には5年度からの直営化に向けた備品購入や改修工事を行ったことから、工事が無かった令和3年度に比べて利用者一人当たりのコスト等が増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	利用件数	目標値	6,400	6,000	7,000	6,500	6,613
		実績値	7,144	5,381	6,156	5,868	6,613
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 現状維持 ● その他(令和5年度より直営化)						
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成15年度 直営 平成16・17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無						
利用者・地域のニーズ	区民の生涯学習活動の拠点施設として、生涯学習を推進していく必要性は高い。						
現状・課題	○利用者の満足度向上のため、更なる接遇の向上に徹底して取り組んでいく必要がある。 ○空調設備など老朽化した設備を計画的に修繕する必要がある。 ○区の生涯学習の拠点として様々な生涯学習講座を実施するとともに、地域を支える人材を育成するため、講座内容やサービスを見直す必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○各委託業者と情報共有を細めに行い、利用者が満足できるよう更なる接遇の向上に努める。 ○老朽化した空調設備の更新など、利用者がより安心して快適に利用できる施設環境を整える。 ○区の生涯学習の拠点として、あらゆる区民が主体的に学習できる環境を整備する。学びを通じて仲間や地域社会と繋がり、自己実現を図れるような学習機会を提供するとともに、地域の担い手育成を目指した講座を実施する。						
議会、利用者等からの意見	平成29年度 11月会議 「体育館への空調設置について」 平成30年度 9,11月会議 「体育館への空調設置について」 令和元年度 決特 「コンピューター室におけるPCの性能について」 令和3年度 予特 「生涯学習センターの機能再編について」						



R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響による施設の一部利用制限が無くなり、利用者数が回復傾向にある。



R4年度はR3年度の新型コロナウイルスワクチン接種会場が無くなったことで、利用件数が微減している。

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-03		
施設名	町屋文化センター				
所在地	荒川区荒川七丁目20番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和63年 670,212	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和63年9月30日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和63年11月1日		職員数	0	25
構造	鉄骨鉄筋コンクリート		階層	3階	
面積	敷地面積		4,137.28 m ²		
	延床面積		2,400 m ²		
設置目的・経緯	多くの区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯教育の推進と地域文化の振興を図る。				
関連部署	文化交流推進課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立町屋文化センター条例、同施行規則、荒川区立町屋文化センターの使用の予約に係る手続き等に関する要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団	期間	令和5年4月1日	から	
				令和10年3月31日	まで	
事業内容	文化・カルチャー講座、自主事業（一日文化体験・なないろひろば）等					
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、年3回の保守点検日				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
	貸室利用者数（人）	105,176	86,572	86,574	81,718	81,800
	貸室利用件数（件）	4,709	4,318	4,598	4,998	5,247
	貸室ホール稼働率（%）	61	50	54	59	62
	カルチャー講座数（講座）	531	230	240	326	342
	カルチャー講座受講者数（人）	2,961	1,544	1,247	1,672	1,780
	指定管理料（千円）	31,542	29,492	43,167	41,142	42,441
に指定 係等 管理 費	指定管理者の支出合計（千円）	40,497	40,627	50,055	51,136	53,541
	指定管理者の人件費（千円）	10,430	20,091	4,396	5,369	5,476
	指定管理者の利用料金収入（千円）	8,997	10,818	10,757	11,337	11,000
備考	令和5年度から新事業者によりカルチャー講座を開始し、講座数及び受講者数が増加している。また、きっかけづくり事業「なないろひろば」や参加型イベント「町屋カルチャー祭り（一日文化体験）」で施設利用を促進し、貸室利用件数、利用料金収入ともに増加した。					

III 財務諸表

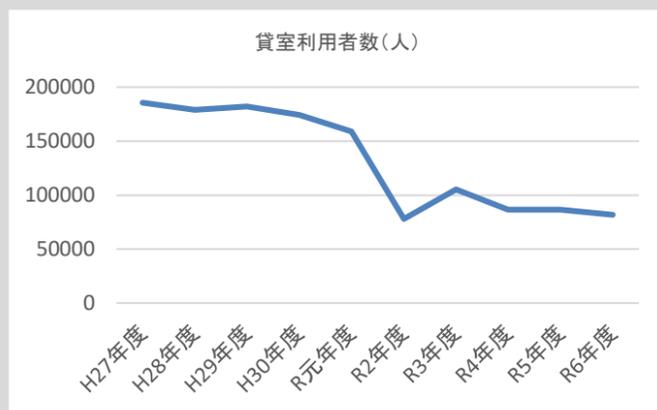
(単位:千円)

	勘定科目			勘定科目	勘定科目							
	R5年度	R6年度	差額		R5年度	R6年度	差額					
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0				
	物件費	39,383	40,253	870	国庫支出金	0	0	0				
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0				
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0				
	補助費等	15,068	15,068	0	使用料及び手数料	0	0	0				
	減価償却費	25,534	25,534	0	その他	621	673	52				
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	621	673	52				
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 79,364	▲ 80,182	▲ 818				
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0				
	行政費用合計(b)	79,985	80,855	870	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 79,364	▲ 80,182	▲ 818				
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0					
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 79,364	▲ 80,182	▲ 818					
貸借対照表	勘定科目			勘定科目			勘定科目					
	流動資産	R5年度	R6年度	差額	流動負債	R5年度	R6年度	差額	流動負債	R5年度	R6年度	差額
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	有形固定資産	844,498	819,161	▲ 25,337	その他の流動負債	0	0	0	固定負債	0	0	0
	土地	657,907	657,907	0	特別区債	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
	建物	831,887	831,887	0	退職給与引当金	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 645,296	▲ 670,634	▲ 25,338	負債の部合計	0	0	0	正味財産	845,679	820,146	▲ 25,533
	工作物等	0	0	0	正味財産	845,679	820,146	▲ 25,533	正味財産の部合計	845,679	820,146	▲ 25,533
工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	845,679	820,146	▲ 25,533					
無形固定資産	0	0	0									
建設仮勘定	0	0	0									
その他の固定資産	1,181	985	▲ 196									
資産の部合計	845,679	820,146	▲ 25,533									
備考	補助費等としてイーストヒル町屋管理組合の管理・修繕費15,068千円がかかっている。その他の行政収入では、電気・水道料金に係る収入が673千円あった。											

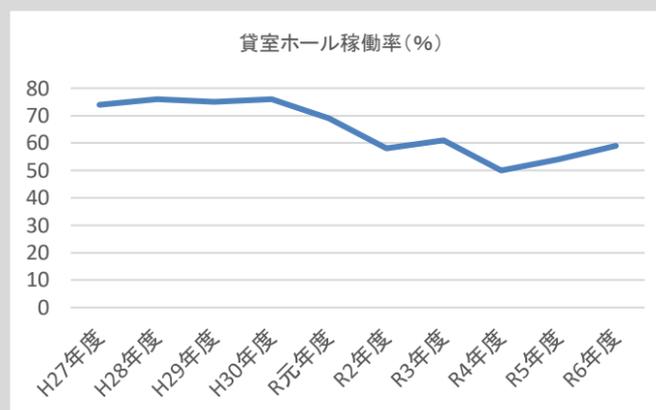
指標		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	75	75	78	80.6	
	1㎡当たりコスト(円)	28,145	29,728	33,327	33,690	
	人にかかるコストの割合(%)	26	49	9	10	
	開館1日当たりコスト(円)	18,974	20,041	22,468	22,712	
	利用者1人当たりコスト(円)	642	824	924	989	
	区民1人当たりコスト(円)	315	332	373	377	
	受益者負担比率(%)	8	10	8	8.6	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	利用者数(人)	目標値	128,800	84,700	66,500	123,300	151,600
		実績値	105,176	86,572	86,574	81,718	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無						
利用者・地域のニーズ	生涯学習等の情報の収集、芸術文化の鑑賞、地域社会での交流						
現状・課題	①リニューアル工事の対象となっていない設備は、老朽化の現状を踏まえた設備点検や必要な修繕を実施するなど、適切な維持管理に努める必要がある。 ②カルチャー講座において、更なる利用者数の増加を図る必要がある。						
課題に対する現時点での考え	①施設の保全に努めつつ利用者の利便性も高める修繕を行っていく。 ②カルチャー祭りやPR方法の充実を図る等、カルチャー講座の更なる利用者獲得の方策を指定管理者と協議し、実施していく。						
議会、利用者等からの意見	平成30年度2月会議 町屋文化センターのリニューアル状況の検討について 令和元年度決特 町屋文化センターリニューアルの進捗状況について 令和3年度予特 町屋文化センターリニューアルについて 令和5年度予特 町屋文化センターのカルチャー講座、街なかピアノについて						



令和5年度から新事業者によるカルチャー講座が開始した。利用者数減少が予測されていたが、7月以降本格的に稼働し、利用者数を維持している。



一般利用件数やカルチャー講座数等の増加により、貸室稼働率が上昇した。

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-04		
施設名	清里高原ロッジ及び清里高原少年自然の家				
所在地	山梨県北杜市高根町清里3545番5				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和58年	810,551	199,563	0 610,988
	増改築①				
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和58年4月15日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和58年4月15日		職員数	0 11	
構造	RC造		階層	2階	
面積	敷地面積		32,322 m ²		
	延床面積		3,999.96 m ²		
設置目的・経緯	区民の健康増進、青少年の健全育成				
関連部署	指導室、学務課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立清里高原ロッジ条例、荒川区立清里高原少年自然の家条例、両条例施行規則				
駐車場の状況	約20台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社ニッコトラスト	期間	令和5年4月1日	から	
				令和10年3月31日	まで	
事業内容	移動教室等の宿泊事業、一般団体及び社会教育関係団体の宿泊、指定管理者自主事業等					
対象者	荒川区内及び山梨県北杜市に在住、在勤、在学者等					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	11月上旬～4月下旬				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(見込み)
	一般利用者(人)	692	1,948	2,314	2,517	2,259
	学校利用者(人)	1,602	5,729	5,367	5,836	5,644
	合計(人)	2,294	7,677	7,681	8,353	7,903
	施設稼働率(%)	13	31	36	38	35
	開所日数	213	192	191	192	179
に指定 係等 る管 理費	指定管理料(千円)	74,661	77,292	78,225	83,544	87,786
	指定管理者の支出合計(千円)	81,196	95,006	98,244	95,645	102,641
	指定管理者の人件費(千円)	24,907	23,556	21,443	23,152	26,238
	指定管理者の利用料金収入(千円)	6,471	20,167	20,040	22,558	22,402
備考	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が大幅に減少したが、令和4年度以降、特に令和5年度は5類移行に伴い、感染拡大前の実績までほぼ回復している。指定管理料は電気料金の高騰等の影響により、光熱水費が多くかかっており、指定管理料も年々増加している。					

III 財務諸表

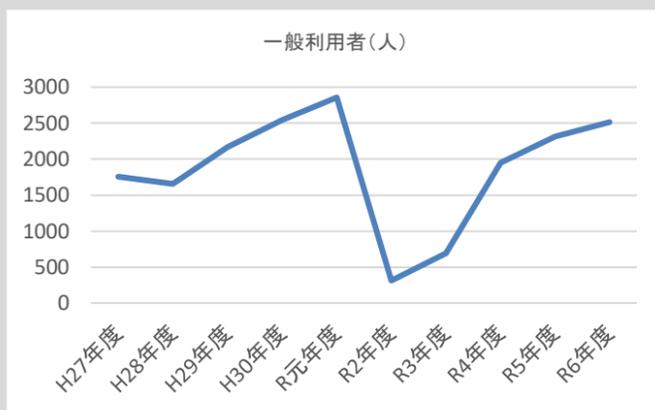
(単位:千円)

	勘定科目			勘定科目	勘定科目				
	R5年度	R6年度	差額		R5年度	R6年度	差額		
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	
	物件費	120,998	143,194	22,196	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	39,452	39,452	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	96	60	▲36	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	5,848	5,848	0	その他	4,876	5,312	436	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,876	5,312	436	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲122,066	▲183,242	▲61,176	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	126,942	188,554	61,612	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲122,066	▲183,242	▲61,176	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲122,066	▲183,242	▲61,176		
貸借対照表	勘定科目			勘定科目			勘定科目		
	R5年度	R6年度	差額	R5年度	R6年度	差額	R5年度	R6年度	差額
	流動資産			流動負債					
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0	
	有形固定資産	93,760	87,912	▲5,848	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0	
	建物	964,287	964,287	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	▲870,527	▲876,375	▲5,848	退職給与引当金	0	0	0	
工作物等	94,259	94,259	0	その他の固定負債	0	0	0		
工作物等減価償却累計額	▲94,259	▲94,259	0	負債の部合計	0	0	0		
無形固定資産	0	0	0	正味財産	93,760	87,912	▲5,848		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	93,760	87,912	▲5,848		
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	93,760	87,912	▲5,848		
資産の部合計	93,760	87,912	▲5,848						
備考	行政費用では、指定管理者への委託料83,544千円を含む物件費が多くかかっている。維持補修費では、非常用発電設備改修工事を実施し39,452円皆増となった。								

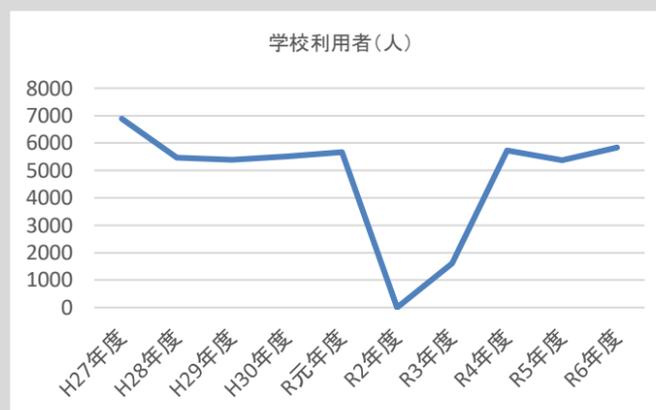
指標		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率	90.0	91	91	91.7	
	1㎡当たりコスト(円)	26,592	32,478	31,736	47,139	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	31	25	22	24.2	
	開所1日当たりコスト(円)	499,380	676,620	664,618	982,052	
	利用者1人当たりコスト(円)	46,368	16,922	16,527	22,573	
	受益者負担比率(%)	6	14	14	11.2	
備考	非常用発電設備改修工事の実施のより、1㎡当たりや開所1日当たり等のコストが増加した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	一般利用者数(人)	目標値 5,943	2,524	2,450	2,416	2,259
	実績値	692	1,948	2,314	2,517	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○開設から40年が経過しており、外壁や屋外排水設備等の施設修繕及び設備更新を計画的に行う必要がある。 ○令和3年度に変更した指定管理者で令和5年度から5年間の指定期間で更新したが、引き続き利用者が満足できる施設運営を行う必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○優先度の高い設備改修を実施するとともに、今後も必要な修繕等を指定管理者と協議し、対応していく。 ○引き続き、利用者アンケート等を活用し、収集した意見、ニーズを捉えつつ、優先順位等を踏まえて対応を検討する。					
議会、利用者等からの意見	○平成28年度 予特 施設を活用した高地トレーニング等の提案について ○平成29年度 予特 自然体験や文化芸術の合宿等での活用について ○平成30年度 決特 冬季開設について ○令和3年度 決特 ランニング合宿について					



令和4年度以降、特に令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類移行に伴い、感染拡大前の実績までほぼ回復している。



令和4年度以降は、新型コロナウイルス感染拡大前と同様の内容で移動教室を実施できたため、感染拡大前と同程度の学校利用者数となっている。